

問

代表・一般質問を平成21年12月2日、3日、4日に開会した第4回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

厳しい区財政運営には 経営的視点が重要



自由民主党
馬場 信男 議員

今後の区政運営をどのように行っていくのか

【問】財政調整交付金は100億円前後の減額が予想され、来年度予算の査定は厳しいものになる。どのような点に留意するのか、各種基金の取扱いも含め伺う。

また、官から民へのシフト等、大胆な区政改革が望まれるが、今後の区政運営における経営という視点での区長の考えを伺う。

【区長】事業コストと効果の数値化を図る等により、事業の選択と集中を一層強化する。一方、区を取り巻く好機を逃がさないよう、重点プロジェクト推進戦略に沿って活力のあるまちづくりにも充分配慮する。各種基金は、区債の残高とのバランスも考慮し、有効に活用していく。

また、予算と、効果・果実を常に意識した民間企業と同様の経営感覚を、末端の職員まで共有することは当然のことと考える。「自己改革できる自治体」として生まれ変わるチャンスととらえ、乗り切っていきたい。区内業者発注割合の最終目標は100%であるべきだ

【問】厳しい景気の中、区内業者は悲鳴をあげている。区内業者の育成を考えれば、区内業者発注割合の最終目標は100%であるべきだ。今後の割合目標をどの程度と考えているのか。

【総務】工事契約は、件数、金額とも区内業者への発注は90%を超えている。専門性の高い工事等は、区外業者を指名する場合もあるが、より高い発注率を目指していく。

【問】旧庁舎跡に建ったあだち産業芸術プラザは、使い勝手が悪く利用が少なく聞かれます。千住は今後、1万人を超える学生達が集う街になるのだから、彼らに魅力ある施設として変わっていくべきと思うがどうか。



【産業経済】平成24年には5つの大学が出揃い、学生数も1万人を超える。東京芸術センターには産学公連携の一翼を担っていただきたいので、大学を核とした再構築を視野に、交渉に入るべく準備を進めている。

【問】未利用地売却の入札は、不調となるケースが多い。未利用地を放置しておくだけではもったいないので、子ども広場等、公園としての活用はできないか。

【資産管理】従前から地域の要望により、こども広場や暫定運動場として一時開放しているところもある。今後も、駐車場等の暫定利用ができない用地は、地域の要望を踏まえ、極力地域に開放していきたい。

【問】避難所には34品目の備蓄医薬品があり、一定期間を経て廃棄されている。キズテープは1避難所に22箱、区内125避難所計で2千750箱、かぜ薬は千250人が廃棄された。再利用の考えは。

【危機管理】キズテープは、かぜ薬等と異なり薬事法の規制の範囲外であるため、再利用可能である。厚生労働省令で定める品質確保の基準を遵守しながら、次回の入替え時より再利用を実施していく。

【問】舎人公園の春の花火と千本桜まつりを継続的に実施すべきだ

【問】舎人公園の春の花火と千本桜まつりは、駐車場もあり障がい者にも優しいイベントとの評価を聞く。平成22年3月の開催以降は未定とのことだが、継続的に実施すべきではないか。

【産業経済】来年度以降も、舎人公園の特徴を活かし、開催目的を明確にしながら、都、関係各団体、区内各部等と連携し継続実施できるよう努力していく。グループホームの開設が進まない理由は何か



【問】グループホームの開設数は、平成20年1件、21年0件である。足立区基本計画では重要施策となっているが、開設数がまったく伸びない原因は何か。

【福祉】開設に必要な不動産は、随時、オーナーから申し出があるが、障がい特性にあった居所に改修するため、面積等条件に合致する不動産が見つからないことが原因である。

【問】食物アレルギー等が原因による給食の除去対応児童が年々増えているが、呼吸困難に陥る等の事故は起きていないか。また、各園任せの対応だけでは不安がある。重度のアレルギー児童が複数在園する園への対応はどうか。

【子ども】昨年度末に私立保育園1園で、4歳児童が一時入院した。今年度は区立保育園2園でも事故が起きており、重要な問題であると認識している。また、区は私立保育園長会にも「地域栄養士ネットワーク交流会」への参加を促し、意見交換を行っている。

さらに、区の基本方針を各園に配布する等、事故が発生しないよう徹底を図っている。

【問】小・中学校の学校公開の訪問者数を把握し、分析を行っているのか。

【問】先日、ある運動会を見学したが、区歌を歌える子どもがほとんどいなかった。真に地域や郷土を愛する心を育てるため、子どもたちがどこでも歌えるよう指導すべきと思うがどうか。

【教委長】小・中学校では、入学式や卒業式等、様々な機会に歌うよう指導している。

また、教員が正しく指導できるように、各学校にCDを配付するとともに、新規採用教諭等にも、歌えるよう指導している。

【問】66万区民の目となり耳となり、行政全体を大きく包含

【問】地方分権の推進と今後の区政運営について伺う

足立区政の展望を問う



自由民主党
鈴木 進 議員

【問】区長は、マニフェストを

【問】区長は、マニフェストを

【問】地方分権が地域主権とい